

2. 胃がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん

※別紙5に入力した内容が反映されています。

※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制

○:あり ×:なし

○

	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○:実施可 / ×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		放射線療法	化学療法	光線力学療法		ページの見出しとアドレス			掲載されている内容	
				開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD			ア http://	イ http://	ア http://	イ http://	治療内容	治療実績	医師の専門分野
1	外科	4	2	状況 ○ ○ × × ○	実績 あり あり なし なし あり なし なし	早期の胃がんに対しても、適応を厳密にした上で腹腔鏡を用いて手術を行っており、手術後の痛みの減少や早い社会復帰に貢献しています。用いて手術を行っており、手術後の痛みの減少や早い社会復帰に貢献しています。	ア http://	イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし					
2	消化器内科	6	3	状況 ○ × ○ ○ ○	実績 なし なし あり あり あり なし なし	当院に導入された超音波内視鏡専用機は電子ラジアル超音波内視鏡といい、一般臨床病院での配備は日本国内でも数えるしかない最新機器を配備しております。消化管早期悪性腫瘍の内視鏡的切除を行っております。	ア http://	イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし					
3				状況							ア http://	イ http://				
4				状況							ア http://	イ http://				
5				状況							ア http://	イ http://				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 胃がん
	胃がん